



わくわく



早いもので、2学期もいよいよ最後の月を迎えます。先日の授業参観、懇談会には、たくさんの方が足を運んでくださり、ありがとうございました。
今学期も、様々な活動や学習、行事を終えるごとに子どもたちの成長を大きく感じることができました。ご家庭のご支援ご協力のおかげと感謝いたします。
よい冬休みを迎えられるよう、まとめの時期、子どもたちと共に頑張りたいと思います。



12月の行事予定



学習予定



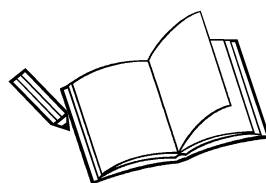
月	火	水	木	金
☆毎日のコネクトサービスへの入力、ありがとうございます。				
4 持久走練習	5 持久走練習	6 お話会 口座引落日	7 持久走記録会	8 持久走記録会 予備日 おやま和食の日
11 こころの 安全点検	12	13 感謝の集い 放課後 子ども教室	14	15 クリーンディ
18 清掃強調週間	19 スクールカウン セラー来校 お楽しみタイム	20 表彰集会	21	22
25 終業式 特5日課 一斉下校 14:00				
☆ 冬休みについては、冬休み号でお知らせします。 ☆ 第3学期始業式は、1/9 (火) です。				

こくご	おかゆのおなべ ともだちに、きいてよう ものの名まえ 日づけとよう日 てがみてしらせよう
さんすう	ひきざん かたちあそび など
せいかつ	木の実や落ち葉で おもちゃ作り かぞくにこにこ だいさくせん
おんがく	いいおとみつけて おとでよびかけっこ
ずこう	ひかりのくにの なかまたち 他
たいいく	ボールけりゲーム
どうとく	みつけてみよう にちようびのさんぽみ ち他
えいご	おえかきをしよう (形・体の部位)

☆お知らせとお願い☆

☆持久走記録会について☆

12月7日(木) 予備日 12月8日(金)
女子からスタートです。1年生は、9:50~10:10の予定です。



☆持ち物について☆

登校中ポケットに手を入れて歩いている様子が見られます。安全のためにも手袋(記名)をご用意ください。カイロを使用する場合には、記名をして、持ち帰るよう話しています。感染症も流行しつつあります。予防のために、ランドセルのポケットに、マスクを入れておいてくださるようお願いいたします。

☆学習について☆

毎日、音読を聞いて学習がんばりカードに印を付けていただき、ありがとうございます。授業の中でも、自信をもって音読をする姿が見られます。暗唱できるようになっているお子様もいて、継続することの大切さを感じています。計算カードや自主学習の取組にも、引き続きご協力をお願いします。

心のまど

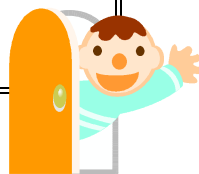
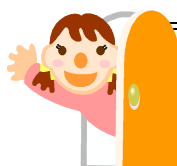
☆人権に関すること

乙女小では、11月20日~24日を校内人権週間とし、学年に応じて「人権」の大切さを学びました。1年生は、おしおし村の仲間たちという動画から、「みんないいところがあるよ。」「いいところをみつけていこう。」ということ学びました。授業参観の内容をさらに深めることができました。

たんぼぼ祭では、お楽しみ班の友達と仲良く遊んだり、作品を鑑賞したり、校内でオリエンテーリングをしたりして、協力して活動できました。

この期間だけでなく、今後も常に自分も相手も大切にしていけるよう声を掛けていきます。

- 1 自分の意見をしっかり話し、相手の意見もきちんと聞く。
- 2 人にされて嫌なことは絶対にしない。
- 3 友達を信頼する。
- 4 相手のことを考え、思いやる気持ちをもつ。

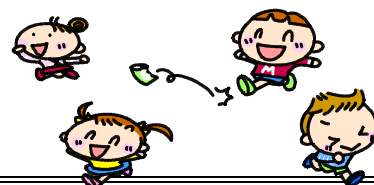


2月学年共通テーマ〔人権に関すること〕

乙女小では、11月20日～27日を校内人権週間とし、学年に応じて「人権」の大切さを学びました。その中でどの学年も「ひと」との関わり大切さを感じてくれたことと思います。

今年度、いじめ0サミットに参加した乙女小の代表児童が、グループで話し合った内容を紹介します。学校でも、気をつけていけるよう声をかけていきます。

- 1、自分の意見をしっかり話し、相手の意見もきちんと聞く。
- 2、人にされて嫌なことは絶対にしない。
- 3、友だちを信頼する。
- 4、相手のことを考え、思いやる気持ちをもつ。
- 5、差別をせず、いじめをしている人がいたら注意する。



子どもたちは学校という小さな社会の中で、日々「ひと」と関わりながら毎日を過ごしています。仲良しの友だちもいれば、自分と価値観が合わない子もいるし、一緒にいて楽しい子もいれば、自分の知らないことを教えてくれる子もいるし・・・いろいろな「ひと」がいます。これは、大人社会でも同じです。たくさんのお出会いの中で「ひと」と気持ちの良い関わりができることは、誰もが望んでいることです。

では、子どもたちが気持ちよく「ひと」と関わるためにどうしたらよいのでしょうか。

子どもの心を育むには、大人の働きかけがとても大切だと言われています。実は大人の関わりも、子どもの「人権感覚」を育てる大切なポイントなのです。

傾聴

考え方が違ってても、共感的態度で子どもの話に耳を傾ける。

称賛

子どもをよく見て、結果だけでなく過程や伸びを褒める。

指導

生活の基本や大切なことは、子どもに理解・納得できるように伝える。

子どもの話をよく聴くことは、子どもが自分のことを分かってくれていると思う信頼感につながります。時には、大切なことを厳しく指導することも、子どもからの信頼を得ることにつながります。

12月4日～10日は全国人権週間です。この機会に、子どもの良いところを、たくさん見つけてください。